

諏訪之瀬島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

昨日（27日）22時頃、諏訪之瀬島で噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生しました。

本日（28日）、京都大学および気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県防災ヘリの協力を得て合同で行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が積もっているのを確認しました。

諏訪之瀬島では、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

平成19年12月1日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

概況（図1）

昨日（27日）22時頃、諏訪之瀬島で噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生しました。

遠望カメラによる噴煙の状況は夜間のため確認できませんでしたが、現地からの聞き取りによると、噴火時に弱い揺れを感じたほか、「ゴー」という鳴動が聞こえたとの事でした。

本日（28日）、京都大学および気象庁機動調査班が鹿児島県防災ヘリの協力を得て合同で行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が積もっているのを観測しました。なお、火口の形状及び火口周辺の状況はこれまでと変化はなく、1kmを超えて飛散した噴石は確認できませんでした。



図1 諏訪之瀬島 御岳の状況（平成21年8月28日 西側から撮影）

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。